

商工会女性部はまさに
元気と安心をお届けしています。

はちみつ 通信

チームワークで
水仙の花を沿道に飾り、
過疎の地域を明るく
小菅村商工会女性部(山梨県)



人口約700人の小さな村の私たち女性部は、村内に道の駅がオープンした2015年度をきっかけに、地域貢献・美化活動を目的として、敷地内にある芝ざくら花壇の草取りを実施することになりました。

昨年度は、コロナウイルスの影響により、実施することを見合わせましたが、それ以外は毎年行われている継続事業として、今年度も6月に実施しました。

「草取りだけじゃなくて、花を植えてみたらどう？ 来る人たちが喜ぶわよね？」などという部員間の活発な意見により、2019年度からは、敷地内の沿道約200mに水仙の寄せ植え(部員がもち寄った苗200本)も行うことになり、訪れる多くの観光客はもちろん、きれいに並ぶ水仙の花が地元を飾ることで、村に住む人にも喜ばれています。

今年度は、水仙の周囲の雑草を取っ

CD配布からDVD製作に発展！
ご当地ソングをつくって
郷土愛の醸成や地域PRに貢献
黒瀬商工会女性部(広島県)



ご当地ソング「くろせのうた」
のCDジャケット



「魅力あふれるまち」くろせ

DVD 作成プロジェクト

企画・制作 / 黒瀬商工会女性部
 撮影・編集 / 藤原 良一郎
 作詞・作曲・編曲 / 神南 昌一 黒瀬商工会女性部 (作詞) 協力 / 黒瀬商工会青年部
 振付協力 / 広島国際大学ダンス部 (振付指導) : 山村 寿美世 プロデューサー / 森田谷 薫

女性部地域再生型提案公弊事業

女性部員によるダンスDVD。ご当地ソングにのせて地域の名所を紹介する



雑草取りなどの管理作業の様子



沿道を彩る水仙の花

たり、維持管理の作業も行いました。活動をしているときの部員たちの雑談も和気あいあいとしていて、チームワークのよさが事業の活力となっているようです。村の過疎化が進み、部員も年々減っていますが、部員一人ひとりの「地域愛」が大きな力となっているので、今後も継続事業として続けていきたいと思っています。

黒瀬商工会女性部は、現在36人と部員数は少ないものの、「コロナ禍でも地域に貢献できる活動を」と積極的に活動しています。

そんななか、「何もない黒瀬町だけでなく地域をもっとPRしたい」という思いから、広島県商工会女性部連合会が毎年募集をしている地域活性化促進事業を活用し、2017年につくったこの当地ソングがあります。

音楽づくりは初体験。地元の専門家に力を借りながら進めていきました。歌詞は、地元のイベント出店の際に地域の人たちの意見をアンケート調査し、それをもとにつくりました。曲は黒瀬町出身のシンガーソングライターに作曲していただきました。CDジャケットのデザインには青年部のつくったロゴと地元中学校の家庭科部が作成したキルトを採用し、CDが完成しました。完成したCDは100枚限定で小中高等学校や公共機関などに配布し、小学校の休憩時間や、中学校では下校時間にも流していただきました。地元新聞にも掲載され、すぐに在庫が無くなり配布は終了しましたが、今でも問い合わせが寄せられます。

その翌年には、地元大学のダンス部にご当地ソングの振付を依頼。誰でも気軽に踊りたくなるようなダンスに仕

上げ、女性部員自らが歌詞に出てくる地域の名所を巡って撮影したDVDをつくりました。

そして今年度は、「何もない黒瀬町に特産品づくり」をテーマに事業計画中です。

コロナ禍でも負けない前向きでアクティブな黒瀬商工会女性部。これからも感染対策をしながらパワー全開でがんばっていきます。



黒瀬商工会女性部のメンバー。みんなで意見を出し合いながらアクティブに活動している